

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント
In Celebration of UNESCO World Day for Audiovisual Heritage

[上映と講演]

戦前日本の 映画検閲

—内務省 切除フィルムからみる—

[Screening and Lecture]

Film Censorship in Pre-war Japan:
A Perspective of the Film Scenes "Cut"
by the Home Ministry

国立映画アーカイブでは、本年のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)記念特別イベントを機に、1988年に寄贈された鳥羽幸信コレクションから、戦前日本の映画検閲で切除されたシーンの断片集を初公開します。

この切除フィルムは主に1925年から1939年に内務省警保局の検閲でカットされたフィルムと推定されます。本イベントでは、『日輪』(1925年、マキノ=聯合、衣笠貞之助)などすでに失われた日本映画から当時の観客すら見ることができなかった場面を、90年以上の時を経て初めてスクリーンに上映し、当時の映画検閲の制度や切除フィルムの資料的価値を講演をとおして考察します。

ユネスコ「世界の記憶」30周年にあたる本年、歴史的かつ文化的遺産である映画・映像のアーカイブや記録遺産を保護する活動への理解を深める機会として、ご来場いただければ幸いです。

2022年10月15日[土]

開演:13:00 | 16:15 どちらも上映(1時間10分) + 講演(1時間)

チケット:9月28日[水]からオンライン販売開始

会場:国立映画アーカイブ 小ホール

定員:151席(定員入替制・全席指定席)

主催:国立映画アーカイブ

戦前日本の 映画検閲

—内務省 切除フィルムからみる—

[Screening and Lecture]

Film Censorship in Pre-war Japan:
A Perspective of the Film Scenes "Cut"
by the Home Ministry



プログラム 13:00 ~ 15:15 | 16:15 ~ 18:30 ※各回、上映・講演は同じ内容、終了時刻は目安です。開映後の入場はできません。

【上映】

可燃性の切除フィルムから複製した①35mmフィルム、②同フィルムのデジタル版(同定した作品タイトル入り)、の2回上映します。

● 35mmフィルム(計35分)

「サイレント・カット場面集 邦画」(10分、16fps)1925年~1927年頃の公開作の切除場面

「サイレント・カット場面集 洋画」(14分、16fps)1925年~1928年頃の日本公開作の切除場面

「トーキー・カット場面集」(11分)1935年~1939年頃の日本公開作の洋画切除場面

● デジタル版(計35分) ※上記3本に、同定作品のタイトルを入れた版。

【講演】(1時間)

加藤厚子「映画検閲再考—歴史資料としての切除フィルム—」

日本において、映画検閲は監督・脚本家など「検閲を受ける側」の回顧談を根拠に語られることが多かった。近年、検閲台本や公文書など歴史資料の分析に基づいた研究が進められているが、今回公開されるフィルムは、これまでの研究を大きく発展させる画期的な資料といえる。日本における映画検閲制度の変遷と、法規における映画検閲の位置づけをふまえながら、このフィルムの資料的価値を検討し、歴史資料としての意義を考える。

【講師】加藤厚子:学習院女子大学非常勤講師。専門は日本近現代史(戦前・戦中の映画産業と映画統制)。著書に『総動員体制と映画』(新曜社、2003年)、復刻監修『社史で見る日本経済史』シリーズ(ゆまに書房、2015年)の他、論文多数あり。

チケット

9月28日[水]10:00 amから、当館HPより全席指定席で、公式チケットサイトにて開映15分前までオンライン販売します(チケットぴあ販売はありません)。

● 残券がある場合のみ、上映当日、当館1階窓口にて各回開映1時間前から5分前まで、チケットを販売します(座席選択はできません)。

● 詳細は当館HPをご覧ください。

チケット料金

一般:520円/高校・大学生:65歳以上:310円/小・中学生:100円/障害者(付添者は原則1名まで)・
キャンパスメンバーズ:無料

● 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。

● 学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

● 未就学児、優待の方は「障害者または付添者等券」をお求めください。

入場方法

● 開場は開映30分前です。

● 入場時に、QRコードをスマホ画面、または印刷したものでご提示ください(QRコードのご提示がない場合はご入場できません)。

新型コロナウイルス感染症対策について ● 来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りいたします。● マスクの常時着用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。● 館内での飲食は、キャップ付きの飲み物以外はお断りしております。ご了承ください。● ご来館前に当館HPで「ご来館にあたってのお願い」をご確認ください。

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)

1980年ベオグラードで「映像の保護及び保存に関するユネスコ勧告」が採択された10月27日にちなんで、映画フィルム、テレビ番組、様々な録音・録画物などの視聴覚遺産を保存し安全保護する活動の推進と啓蒙を目的に、ユネスコが2006年に定めた国際記念日。ユネスコに属する視聴覚保存機関連絡協議会(CCAAA)での決定を受けて、2007年から記念イベントが世界各国で実施されており、国立映画アーカイブが加盟している国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)でもこの日を祝う事業に取り組んでいる。

fiaf



〒104-0031東京都中央区京橋3-7-6

交通: ○東京メトロ銀座線京橋駅出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
○都営地下鉄浅草線宝町駅出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
○東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅出口7より徒歩5分
○JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル050-5541-8600

NFAJホームページ:www.nfaj.go.jp

国立映画アーカイブ
NFAJ National Film Archive of Japan

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の
支援を受けています。